

韓国旅行時の機内手荷物リスト

貴重品

パスポート	パスポートの残存期間が出国から6カ月以上あるか事前に確認しておきましょう。
ビザ	6/28現在、観光目的の場合でも観光ビザ（C3）の取得が必要です。お近くの韓国総領事館で申請可能ですので、訪問予定の領事館の情報を確認してから申請しましょう。
航空券	無いと飛行機に乗ることができません。
海外旅行保険証	韓国滞在時の不足の事態に備え加入しておきましょう。
現金	韓国で使うウォンと出国前の空港で使う円の両方があると便利です。円からウォンへ両替する場合は、日本で行うより韓国到着後の方がレートが良いのでおすすめです。公共交通機関や一部の屋台では現金のみ利用可能です。自分の旅行プランに合わせて用意しましょう。
クレジットカード	サインレスの場合もあるので、暗証番号を確認しておきましょう。加盟店の多いVISAとMastercardを何枚か持っていくと高確率で使えるのでおすすめです。

通信関連

携帯電話 (スマートフォン)	飛行機の中では機内モードにすることを忘れなく。
Wi-Fiレンタル	韓国には観光スポットや魅力的なレストランがいっぱいです。旅行中に調べて立ち寄れるよう、事前に日本国内の空港でWi-Fiレンタルを済ませて持ち歩きましょう。韓国で使える海外Wi-Fiレンタルなら、「WiFiBOX」がおすすめ。 WiFiBOXは、自販機感覚で驚くほど簡単に受け取れる新しいWi-Fiレンタルです。
モバイルバッテリー	必ずスーツケースでなく手荷物に入れましょう。荷物を減らしたい方は、モバイルWi-Fiとモバイルバッテリーが1台に内蔵されているWiFiBOXがおすすめ。

機内グッズ

スリッパ	韓国までの空の旅を快適にするため、履きやすい靴やスリッパを準備しましょう。
機内快適グッズ	ネックピロー・アイマスク・耳栓等を用意し、快適な空の旅を！
歯ブラシ・歯磨き粉	歯磨き粉は液体物に入ります。小さいものを持っていきましょう。 ※液体物は100ml以下の個々の容器で、それらの容器を1ℓ以下のジッパー付き透明プラスチック袋に入れましょう。
上着	機内だけでなく、春の朝や晩の冷え込み対策として、温度調節可能なコンパクトなものがあると便利です。薄手かつ長袖のものだと日焼け対策としても効果的。
ホッカイロ	韓国の冬は日本より厳しい場合があります。到着後寒い思いをしなくて良いように、貼るタイプと貼らないタイプホッカイロを持っていくと安心です。なお、韓国では様々なお店でかわいいデザインのホッカイロが売っています。渡航日数に併せて、現地購入もおすすめです。 使い捨てカイロの場合は、機内持ち込み・スーツケースに預け入れともにOK。リチウムイオン電池内蔵の充電型カイロ（ワット時定格量160Wh以上）の場合は、機内持ち込みのみ可能です。

メガネ・コンタクトレンズ	うっかり忘れてしまいがちですが搭乗券の確認やカードの記入ができるよう、必要な方はご準備を。
乾燥対策グッズ	機内は乾燥するので、リップクリームや目薬を準備しましょう。固体のリップクリームは問題なく持ち込み可能、目薬も医薬品として申し出れば液体物の制限外となります。
使い捨てマスク	乾燥や新型コロナウイルス、春の黄砂・PM2.5対策として持っておきましょう。滞在日数に合わせて、予備もお忘れなく。

あると便利なアイテム

ボールペン	持っておくと、座席での入出国カード記入がスムーズです。
ティッシュ・ウェットティッシュ	韓国では日本のようにティッシュやウェットティッシュを入手できる機会は少ないです。汚れた手や机にこぼしたジュースを拭くのに便利なので、いくつか持っておきましょう。
アルコールスプレー・除菌ティッシュ	旅行中はいつでもどこでも手を洗えるとは限りません。新型コロナウイルス対策として、滞在日数によって複数持っていきましょう。
セキュリティポーチ	服の下につけられるポーチです。貴重品は肌身離さずポーチに入れて持っておきましょう。
エコバッグ	韓国のスーパーやコンビニではプラスチック製レジ袋が有料です。バッグにひとつ入れておく、もしくはお土産として買っておくのがおすすめです。
カメラ・SDカード	旅の思い出を持ち帰る手段はお土産だけにあらず。スマホの代わりにカメラで写真を撮ってみるのもおすすめです。SDカードも忘れずに。

韓国旅行時のスーツケース中身リスト

旅行グッズ

スーツケースベルト	スーツケースが開いてしまうことを防ぎます。スーツケースに巻き付けるようにつけておきましょう。
USB充電器・充電ケーブル	カメラやスマートフォン等各電子機器の充電器をお忘れなく。USBが複数口ささるものを持っていくと、一度にスマホとWi-Fi、カメラの充電ができるので便利です。
変圧器・変換プラグ	韓国の電圧は220Vと日本の電圧（100V）より高いので、「100V-240V」と表記のある電化製品以外を使う可能性があれば、変圧器を持っていきましょう。また、韓国のコンセントの主流は丸い2つの穴がついているSE型とC型プラグ形です。日本はA型プラグのため、変換プラグも併せて準備しておきましょう。
圧縮袋	お土産を買いすぎてスーツケースに収まらない時の救世主。何枚か入れておけば安心です。
顔写真のコピー	パスポートを紛失した際の再発行に使います。2枚ほどあると安心です。
証明書やパスポートのコピー	紛失時に備え、コピーしてスーツケースに入れておきましょう。

バス・洗濯用品

タオル	多めに持っていくと、スーツケースでお土産持って帰る際緩衝材にも使えます。冬は室内が乾燥する地域もありますので、ホテルの室内に濡れたものを干しておけば簡易的な乾燥対策になります。
ハンガー	ホテルによっては無いことも。洗濯用にも持っていきましょう。
洗濯グッズ	長期滞在の場合、自分で洗濯すれば持っていく荷物を減らせます。お気に入りの洗剤や洗濯板を用意しましょう。
シャンプー・リンス・石鹸	韓国のホテルによっては無いことも。普段使っていないものだと、髪がキシキシしたり肌に合わなかったりとトラブルの元になることもあるので、小さいサイズのものを持っていきましょう。
化粧品・スキンケア用品	韓国で買ったものが肌に合わないこともあります。冬はとても乾燥するので使い慣れたものを持っていきましょう。
髭剃り・シェービングフォーム	日本のホテルと同じく、韓国でもアメニティーとして置いていないことがあります。スーツケースに入れて持っていきましょう。
爪切り	特に長期滞在の方は自分の使い慣れたものを持っていくことをおすすめします。ニッパー型のは手荷物だと没収対象のためスーツケースに入れて持っていきましょう。なお、クリッパー型のは機内への持ち込みも可能です。

衣類系

着替え	滞在日+1着あると、汚した時やパジャマ代わりに使えます。季節によって気温が異なるため、旅行前に渡航先の気候情報を調べて用意しましょう。
下着・靴下	滞在日+1着あると安心です。滞在日が高い場合は洗濯も視野に。
ジャケット	フォーマルな場所に行くときに役立つアイテム。高級なレストランへ行く予定のある方は襟付きシャツ・長ズボン・革靴とセットで持っているとう安心です。
帽子	夏の韓国旅行時は日差しが強いですので、日焼け対策として持っていきましょう。
サングラス	夏の韓国旅行時は日差しが強いですので、帽子・日焼け止めとセットで持っていきましょう。
雨具	梅雨の6月や通り雨のある7~8月に備えて折り畳み傘を持っていきましょう。
防寒具	11~2月にかけて-10℃ほどになる日があります。イヤーマフや厚手の手袋、冬用のコートといった防寒グッズを準備しましょう。

あると安心な日用品

日焼け止め	夏の韓国は日差しが強め。パッケージが韓国語でわかりにくいこともありますので、日本から持っていきましょう。
コンタクトの洗浄・保存液	目薬同様医薬品として申し出れば液体物の制限外となりますが、申し出が手間とを感じる方は事前にスーツケースに入れておきましょう。
常備薬	自身の飲み慣れたものを持っていきましょう。食べ過ぎ対策として胃薬もお忘れなく。
虫よけスプレー	韓国の夏は日本と同じように蚊がいますので、対策として持っていきましょう。医薬品になっているものをおすすめです。
生理用品	すぐには買えない、品質が良くない場合があります。予備に3日分ほど持っていきましょう。
ジップロック・輪ゴム	食べかけお菓子を保存する時、大活躍です。